



# ゆたかっこ

学校だより 1月号⑩  
豊見城市立ゆたか小学校  
豊見城市字豊見城 601 番地 1  
TEL850-6639 FAX850-3940  
校長 宮平 やすみ

## 声かけ合って、みんなでジャンプ!



第4期に盛り上がる体育行事のひとつ「長縄大会」に向けて、毎日、朝や昼休みに練習する姿が見られます。今年の冬は暖かくよい練習日和が続いていますが、最近では寒いですね。「だれかに勝つ」より「昨日の自分に勝つ」をモットーに、学年全体の目標を決めてどの学級も「自己記録更新」を目指します。2月4日の授業参観日の1校時に全校長縄大会を実施しますので、子ども達のがんばる姿、協力する姿を応援してください。また、3校時には、体育館で「教育活動実践報告会」を行います。今年度の学校評価に基づいた教育活動の成果と課題を、保護者の皆様にお伝えする場です。ぜひ、子ども達の活躍の様子や今後のよりよい学校教育について共に学び、考える場となるようたくさんのご参加をお待ちしております。



2校時の休み時間には、1年生が学級ごとに練習するかけ声が響きます!



毎朝早登校して、朝練する3年1組さん!

## 6年生が社会科学習で「模擬選挙体験」

～堂々と演説、投票体験・・・沖縄タイムス、RBC ニュース番組でも紹介されました。

【豊見城】「選挙って何?」行かないとどうなるの?」選挙の基本を学ぶ「選挙出前授業」が16日、市立ゆたか小学校で開かれた。6年生の児童が座学で知識を深めた後、カレー、シチュー、ハヤシライス、立候補者から3月の給食メニューを選挙「給食選挙」で投票を体験した。授業は県選挙管理委員会、県明るい選挙推進協議会が主催。県選管の奥平寛也さんが選挙について解説。自分たちの生活を豊かにする公共施設などを造るために、どれを先にするか、いくら使うかを自分たちの代わりに決める政治家を選挙の経験で「いいかげん大人を選んでしまったらみんなの生活がめちゃくちゃになる可能性がある」と話した。

### 「給食選挙」で投票を体験

豊見城ゆたか小 県選管が出前授業



6年2組の「給食選挙」では、カレー役の児童が「いろんな野菜を取れ、バラエティ豊かにみんなを楽しませる私こそがふさわしい」、ハヤシライス役が「カフェでも食べられている私を選んでおしやれな給食時間を過ごそう」、シチュー役が「体だけでなく心まで温める私は、常にみんなに寄り添った料理」と演説で自己アピール。投票の結果、28票のうちカレーが15票を獲得して「当選」した。

テレビのニュースでも放映されました。インタビューもハツチリ!

## ようこそ、校長室へ

小学校最後の大会を終えたバスケット部の6年生が報告にきました。島尻地区代表として県大会ベスト 8(女子)ベスト 16(男子)は日頃の練習の成果です。よくがんばりました！



當間光一、前田悠悟、嘉数隆成、村上山人、徳嶺碧人、渡久山尚賢、平良麗和



與儀早彩、宜保舞華、松田安玖亜、宜保朱音、伊波帆夏、外間広夏、平良うの、仲原桜子、高良空南、運天夢華、新垣るのあ

これから地区選抜チーム対抗のバスケット大会があるそうです。ゆたか小学校からも代表に選ばれた選手がいます。悠悟さん、隆成さん、空南さん、帆夏さん、朱音さん、島尻代表チームとして、思い切りプレーしてください。



宜保輝彦さん(2年生)のお母さまが、「おうえんのちから」絵本プログラムに応募していただき、1, 2年生は不思議なしかけと応援はがきのついた絵本をいただきました。応募した中から、日本代表選手団やイベント等へ紹介されるそうですよ。東京オリンピックがますます楽しみに！

応援で東京2020に参加！  
1, 2年生全員に絵本のプレゼント！

弥生さんの作品は、令和2年度版のJA共済カレンダー十月のページに掲載されていますよ。

六年 大城 弥生  
豊かな自然



大城 弥生  
ゆたか小学校6年生  
(豊見城支店)

JA共済書道・交通安全ポスター  
コンクール 優秀賞おめでとう！

## 子育ての部屋「耳ぐすい(耳薬)」

今回は教育書ではありませんが・・・

・・・修道院というのは、無茶と思えることでも、目上の命令に逆らうことは許されないところでしたから、私も「これが神の思召し」として従ったのです。初めての土地、思いがけない役職、未経験の連続、それは私が当初考えていた修道生活とはあまりにもかけはなれていて、いつの間にか“くれない族”になっていました。「あいさつしてくれない」こんなに苦労しているのに「ねぎらってくれない」「わかってくれない」自信を喪失し、修道院を出ようかとまで思いつめた私に、一人の宣教師が一つの短い英語の詩を渡してくれました。その詩の冒頭の一行、それが「置かれた場所で咲きなさい」という言葉だったのです。(略) 私は変わりました。そうだ。置かれた場に不平不満を持ち、他人の出方で幸せになったり不幸せになったりしては、私は環境の奴隷でしかない。人間と生まれたからには、どんなところに置かれても、そこで環境の主人となり自分の花を咲かせようと、決心することができました。それは「私がかわる」ことによるのみ可能でした。(略) どうしても咲けない時もあります。雨風が強い時、日照り続きで咲けない日、そんな時には無理に咲かなくてもいい。その代わり、根を下へ下へと降ろして、根を張るのです。次に咲く花が、より大きく、美しいものとなるために・・・

このコーナーでは、様々な教育書の中から子育てのヒントになりそうな情報を一部分で紹介いたします。私が勝手に選んだ情報ですので、参考にするかどうかは皆様の判断にお任せします。ちょっとしたヒント「耳ぐすい」になればいいな~と思います。

「置かれた場所で咲きなさい」 渡辺 和子 著 (幻冬舎文庫)